

平成21年度途中経過報告書
 11, 01, 13 平成22年度途中経過報告書(案)

市民活動支援補助金事業途中経過報告書

平成22年1月21日

(あて先)廃棄物対策課長

所在地 富士市大淵27番地の6

団体名 NPO法人富士市のごみを考える会

代表者 小野由美子



平成21年10月1日付けで交付決定のあった市民活動支援補助金の事前交付を受けたいので、下記の通り事業の途中経過を報告します。

1. 交付決定額	100,000 円
2. 事前交付の理由	富士市のごみを減らすための市民への啓発活動を行うことを目的に、市民一人一人にごみ減量を訴え、広く3Rを広める活動を行うため
3 事業 内容	施工箇所等 富士市一円
	実施済事業 I ごみ減量普及啓発活動 ① もったいない音楽会の開催 5月24日 ② 環境教育 年6回 ③ 生ごみコーディネーター事業 年数回 ④ 富士市環境フェア出展 12月5日 II ごみ減量実践活動 ① リユース食器活用事業
	実施予定事業 1、 先進都市見学学習事業 2、 伝法小学校2分の1成人式にて 3、 災害ボランティア、桜祭り等のリユース食器活用事業
4. 完了予定日	平成 22年 3月 31日
5. 添付書類	富士市のごみを考える会通信春・夏・秋・冬号



富士市のごみを考える会2009年3月通信



発行:NPO 法人富士市のごみを考える会 2009年4月2日

お問合わせ:富士市大淵 27-6 Tel:35-2439 小野由美子

今月の例会 4月9日(木)フィランセ西館3F富士市消費者運動連絡会室

今月の勉強会 4月23日(木) 9時30分 フィランセ3F 団体研修室



◇ 今年度から、「月刊廃棄物」を定期購読します。

◇ 2009年4月号目次

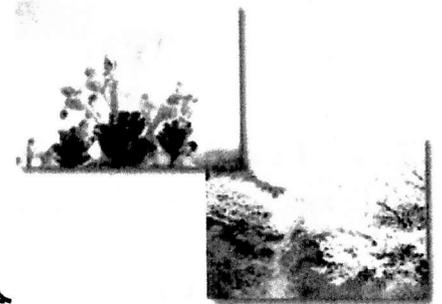
◇ 特集 どう変わる?プラスチック製容器包装

◇ インタビュー

◇ リサイクル高度化へ向け「透明化」を踏まえ優先枠を議論
—環境省廃棄物・リサイクル対策部リサイクル推進室長

◇ 毎月2回目例会を勉強会とします。講師は、当会

会員が随時務めます。第1回目は、4月23日9時半から、フィランセ3Fです。



◆ 総会及び「もったいない音楽会PART6」 5月24日日曜日、午前9時半～ ※詳細別紙

◆ 富士山ネットワーク(静岡県)の理事に小野理事長の推薦受諾を承認

◇ ネットワークの理事に「富士市のごみを考える会の小野」が、富士常葉大の山田辰美先生により推薦された件を例会で承認した。「富士山を世界遺産に」の県主体の団体

◆ 消費者運動連絡会H21年度の生活展の発表テーマ(環境教育の活動)決定

◇ 講師予定、京都市環境部 テーマ 生ごみのバイオマスメタン発酵

◇ 今年2/2 2島田市で、以前に鎌倉市でも、講演実績あり

◆ ボランティア保険(理事と会の活動に積極的に参加する会員)例年通り入会

◇ 今年4/1施行(市民協働課)の市民活動総合補償制度とは別、上記保険に加入する

◆ たかおか高齢者学級(会員80名)の内容決定 (3/17打ち合わせ)

◇ 日時 5月21日(木)13時30分～15時 場所 鷹岡まちづくりセンター

◇ ごみ減量の歌 ごみゼロクイズ 風呂敷活用法 廃油活用BDF車の話

◇ プラスチック製容器包装の分別、家庭ごみの指定袋制導入後の質疑応答

◆ その他

・1 レジ袋無料配布中止(三者協定締結4/23)実施6月1日から

消費連絡みで6月1日～1週間 キャンペーン応援要請があります

・2 「新ごみ処理施設の稼働目標を平成27年と市長表明」これをふまえて

当会のこれからの長期活動計画立案等を検討していく。

◆ 富士市のごみを考える会としての講演会を検討中

環境省廃棄物リサイクル室を予定

活動報告

- ◆ 3月 9日 きらり交流会議 ごみ分別コーナーの説明 (小野)
- ◆ 3月10日 広見小学校 6年1組環境学習報告会 (小野)
- ◆ 3月10日 県庁 環境学習コーディネーターと県庁との話し合い (小野)
- ◆ 3月11日 ひかりの丘まつり打ち合わせ (小野)
リユース食器—7種—計860ケの貸し出し予定
- ◆ 3月12日 当会の2月通信の印刷、郵送準備(会員45人分) (小野、田中、縣)
- ◆ 3月17日 たかおか高齢者学級(ごみ減量のお話し)の打ち合わせ (石川、小野)
5月21日に鷹岡まちづくりセンターにて実施予定
- ◆ 3月22日 廃棄物減量化等推進審議会 (宮野)

活動予定

- ◆ 4月26日 ひかりの丘まつり 9時30分～12時 (お手伝い募集中!)
- ◆ 5月18日 静岡県廃棄物リサイクル室依頼ごみ出前講座研修会
県内市町村廃棄物出前講座担当者へ (小野)
- ◆ 11月14日 県立高校先生を対象に廃棄物対策の話 (小野)

「ごみ分別説明会」を行った「富士市ごみマイスター」の皆様ご苦労様でした。



昨年からモデル地区で行われました田子の浦地区はもちろん、広見地区、丘地区等でも説明会が活発に行われたようです。青葉台地区では、悠容クラブ3回、町内説明会14回行いました。小野、梅原、清水節五郎の3名で担当しました。皆さんとっても熱心で、質問もいただき、拍手までいただいた時には、涙が出そうになりました。ごみを考える会で、市長へ提言し、実現した施策です。何とか成功させたいものですね。プラスチック容器包装分別状況Aランクを目指しましょう。皆さんよろしく願いいたします。

多かった質問

Q:生ごみをスーパー袋に入れて、指定ごみ袋と2重袋で出してもよいのですか？

A:OKです。おむつなど衛生上見られたくないものも可能です。但し、6月からスーパー袋の無料配布が中止されます。指定ごみ袋よりも、生ごみ入れのスーパー袋の方が高くなりますよ。この機会に、生ごみ資源化をやってみませんか？

Q:何できれいなものだけにこだわるのですか？

A:容器包装リサイクル協会の指定業者が、分別されて集められたプラスチックに異物が入っていないかをチェックし、状況によって、Aランク、Bランク、Dランクと分けるそうです。Dランクになると受け取り拒否になります。きれいなものだけ。2重袋には絶対しない。迷ったら燃やすごみ。4月最初から指定資源ごみ袋。

Q:プラスチックのリサイクルマークって何を指して言っているのですか？

A:特定指定業者がリサイクル費用を負担していますよ、とすることを知らせています。

第3回「富士市廃棄物減量化等推進審議会」報告（宮野理事）

日時：平成21年3月24日(火)14:00～16:00

場所：市庁舎8階第一B会議室 傍聴者：赤松氏他1名

会長挨拶：水谷会長

富士市は廃棄物減量化に対して、派手ではないが着実に諸対策を積み重ねている。本日の審議会は、任期2年の審議委員最後の審議会です。

議事

1. 平成20年度のごみ処理状況について(途中経過:2月末現在)

フジスマートプラン21の3つの目標値について、1人1日当たりの排出量および焼却量が共に減少傾向にある中で、資源化率が伸び悩むなど目標値を達成することが出来ていない。

- 1)ごみ処理総量は、84.771tとなり、対前年比で2.8%の減少
- 2)環境クリーンセンターでの焼却量は、70.894tとなり、対前年比で2.1%の減少
- 3)資源化率は14.4%に低下しており、目標値の27.0%に対し大幅未達

(全国平均:20%)

*市のコメント

自主回収されている古紙類が入っておらず、実態は把握されていないが、これを考慮すると、10%程度アップする。

2. パブリックコメントの回答について

- 1)意見提出者数 56人
- 2)提出された意見数 168件
- 3)意見の反映状況
 - ・反映する 4件
 - ・既に盛り込み済み 9件
 - ・今後の参考にするもの 67件
 - ・反映できないもの 43件
 - ・その他(質問等) 45件

3. 指定ごみ袋の導入に伴う地元説明会の進捗状況について

説明会実施状況

- | | |
|--------------|------|
| 地区単位説明会 | 27回 |
| 町内会単位説明会 | 140回 |
| ごみマイスターによるもの | 29回 |

4. レジ袋有料化に向けた取り組み状況について

1)目的

市民とスーパー事業者および行政が連携し役割分担を持って、レジ袋削減に取り組む。

2) 実施案

富士市消費者連合連絡会、大手スーパー事業者、富士市が「レジ袋削減に向けた取り組みに関する協定」(仮称)を締結する

・協定内容

マイバッグ運動の推進

レジ袋無償配布の中止

実施時期：平成21年6月1日

5. 平成20年度事業の取り組み状況について

1) プラスチック製容器包装分別収集試行

平成20年11月より田子浦地区にて試行

収集実績

11月:6.16t、12月:8.25t、1月:9.22t、2月:6.96t

合計:30.59t となり 目標値:48tを下回った

異物混入率は3%程度で良好

2) 指定袋制度導入について

パブリックコメント実施:9/24~10/24

本計画案は11月度市議会において承認された

12月以降、指定袋・廃プラスチック類の分別収集を併せ、各地区で説明会開催中

3) 廃食用油回収事業

12月8日より、環境クリーンセンターを含む10箇所の拠点で回収開始

2月末までに、658リットル回収し再資源化事業者に売り渡し

4) 生ごみの資源化について

地域生ごみ資源化モデル事業

新規2箇所実施:中野台地区、裏町地区

家庭用生ごみ処理機購入費補助金制度

19年度交付件数 96件

20年度交付件数 246件(3月18日現在)

大型生ごみ処理機購入補助金制度

20年度申請件数 0件

5) マイバッグキャンペーン

10月10日~16日に、スマートショップ21店舗が参加

市提供のマイバッグ15,700個を配布した

6. その他 本審議会は平成21年度も新メンバーで継続実施する

以上

富士市のごみを考える会2009年5月通信



発行：NPO 法人富士市のごみを考える会 2009年5月3日
お問い合わせ：富士市大淵 27-6 TEL: 35-2439 小野由美子
例会 5月14日(木) 勉強会 5月28日(木) 9時30分 於：団体研修室

1. 総会へのご出席をお願いします。引き続き、もったいない音楽会です。歌声喫茶で、元気はつらつ！
日時： 5月24日(日)9:30~12:00 場所： フィランセ東館3Fボランティアルーム

事業報告

- 4/26 第2回ひかりの丘フェスティバル(7種—860ヶ貸出し)

参加者：山口君(富士常葉大学卒業生)、石川さん、菅井さん、小野、岳陽中の生徒たち



毎年の恒例となったひかりの丘まつりです。岳陽中のエンジェル達が、今年も元気に食器回収、食器洗い、片付けにと3グループに分かれ、頑張ってくれました。ひかりの丘まつりを、ごみのない素敵なお祭りになっているのは、地球温暖化防止のためとってくれた元気な岳陽中ボランティアグループ「エンジェル」たちです。君たちに、地球の未来は託しましたよ！

- 5/2 静岡大学大学祭実行委員会へ、5月9日10日の学祭食器貸出。(小野)

5月2日3種320枚。今年は食器を小野宅まで、取りに来ました。去年は、「車ないから持って来て」と甘えていましたが、今年は少しえらくなりました。

- 5/1 富士市消費者運動連絡会は、レジ袋有料化の大先輩、掛川市消費者運動協会を視察

掛川市は93%のマイバッグ持参率！レジ袋中止も掛川市指定ごみ袋もプラスチック分別も10年目とのこと、



掛川市消費者運動協会の皆様から、とても温かいおもてなしを受けました。全員にお土産のマイバック君。

富士市のごみを考える会2009年初夏の通信



発行: NPO 法人富士市のごみを考える会 2009年6月14日

お問合せ: 富士市大淵 27-6 Tel: 35-2439 小野由美子

毎月第2木曜日理事会 第4木曜日勉強会 9時30分～フィレンセ3F

今年度より、ごみの会通信は、季刊号とすることになりました。理事役割は今理事会計議中です。次回報告します。

▶ NPO法人富士市のごみを考える会第6回総会、終了



その後の「もったいない音楽会PART6」は、大盛況で、船津先生、久保田先生の名演奏と4Dsの美しい歌声に、皆満足しました。ありがとうございました。

また、福岡県大木町の資源循環センター(し尿・生ごみ・浄化槽汚泥のバイオマス発電施設)と静岡市のゆ・ら・らをスライドを見ながら説明しました。

ごみ減量は、まずはリデュースそして、リユース、それでも残るものはリサイクルというシステムの確立が大切です。

(日曜・祝日) 日刊 岳南朝日

2009年(平成21年)5月26日(大曜日) (8)

富士市のごみを考える会 昔懐かしい歌で「もったいない音楽会」



昔懐かしい曲をたづねたり聴かせる

音楽を通じ環境啓発

NPO法人富士市の市民が主催する昔懐かしい歌を聴く「もったいない音楽会」が、今年も5月26日(大曜日)に富士市大淵のフィレンセ3Fで開催された。出陣代表として、小野由美子、船津先生、久保田先生、4Dsのメンバーが参加し、大盛況のうちに終了した。

「もったいない音楽会」は、音楽を通じて環境啓発の意識を高め、ごみ減量に貢献することを目的として、毎年開催されている。今年度は、環境啓発の意識を高め、ごみ減量に貢献することを目的として、毎年開催されている。今年度は、環境啓発の意識を高め、ごみ減量に貢献することを目的として、毎年開催されている。

積極的にごみ行政へ提言、協力

「もったいない音楽会」は、音楽を通じて環境啓発の意識を高め、ごみ減量に貢献することを目的として、毎年開催されている。今年度は、環境啓発の意識を高め、ごみ減量に貢献することを目的として、毎年開催されている。

「もったいない音楽会」は、音楽を通じて環境啓発の意識を高め、ごみ減量に貢献することを目的として、毎年開催されている。今年度は、環境啓発の意識を高め、ごみ減量に貢献することを目的として、毎年開催されている。

➤ **5月17日 当会の小野理事が「富士山ネットワーク」幹事に就任しました。**

静岡県で行っている「富士山を世界遺産に」を目的として結成されている「富士山ネットワーク」の幹事に、富士市のごみを考える会の小野由美子が就任しました。



➤ **5月18日月曜日 静岡県廃棄物リサイクル室講座講師**

市町村廃棄物対策課環境教育担当の方々へ、学習指導法講座を行いました。いままで富士市のごみを考える会が行ってきた環境教育の様々なバージョンの企画書を使い、模擬授業も行いました。やはり、梅原理事作成の「富士山とごみとわたし」の紙芝居やふろしきが、とても人気でした。

♥それぞれの市町で素敵な授業を行ってくださいね。

➤ **5月最後の1週間 レジ袋無料配布中止キャンペーン**

当会も所属している富士市消費者運動連絡会では、5月最後の1週間、レジ袋無料配布中止のマイバッグキャンペーンをしました。富士市でも、6月1日よりレジ袋の無料配布中止が始まります。それを受けてのキャンペーンで、当会の会員も多数参加しました。印象としては、市民に結構マイバッグ運動は浸透してきているなど思いました。

小さなことでも積み重ねが大切です。マイバッグもその一つ。



➤ **5月21日鷹岡まちづくりセンター松風学級講師**



鷹岡まちづくりセンター高齢者学級にて、環境学習講座を行いました。プラスチックの分別説明とふろしき活用法を行いました。また、プラスチックの分別説明では、なかなか鋭い質問が出ました。

Q なぜ、お店によって、指定ごみ袋の値段が違うのか？

A 富士市の指定ごみ袋は、市が値段を管理する「有料化」ではありません。有料化ですと、市が袋を一括買いあげ、値段を決めて市が販売するため、値段が一律になります。しかし、富士市は袋を使用することとデザインを決めただけなので、袋の値段に

は不介入です。その結果、市場の競争原理で店により値段の差ができます。

Q プラスチックごみを、遠い資源ごみ置き場ではなく、近い燃えるごみ置き場には出せないのか？

A 燃えるごみは2tトラックの大きさのごみ収集車で回収しています。そのため、道の狭い所も入れませんが、資源ごみは、委託業者の4tトラックのため、4tトラックの入る広い道だけの収集になります。



➤ **6月17日 吉永二支部町内会プラスチック分別説明会講師として参加に、消費連菊池代表企画**

なかなか高度な質問が連発しました。

Q1: いろいろな素材のプラスチックを集めてどうするのか？

A1: 富士市では今新日鉄の君津で、コークスの代替燃料になっています。いわゆるケミカルリサイクルです。集めら

れたプラスチックは、富士川町の安藤紙業で、手選別で、異物を取り除いています。

富士市で集めたプラスチックは、どうなっているの？

➤ 安藤紙業を見学してきました。(小野レポート)



- ① 集めたプラスチックは、すべて旧富士川町の安藤紙業に来ます。
4月 174t、5月 188t でした。
4月は、旧年比較で、1000tのごみが減ったそうです。ごみの分別って大切ですね。
- ② すべて手選別で、異物を取り除いています。新日鉄の君津工場で行われた検査で、富士市のプラスチックは、異物混入率 10%以下で、容器リサイクル協会の A ランクでした。
安藤紙業さんで取り除いている異物も、およそ 5% とのことですので、富士市のプラスチック分別は、かなり良いレベルと言えそうです。
- ③ こんなにたくさんのプラスチックが今までただ燃やされていたんですね。これらのプラスチックは、新日鉄の君津工場に運ばれます。今度、富士市消費者運動連絡会(または富士市のごみを考える会)で、見学する予定です。その時はぜひご参加ください。

これからの予定

1. 会報発行の変更 現在の月報を季刊報(4/年)とする
2. 活動予定
 - ① 6/1 (月) 富士市NPO協議会設立総会 縣出席 (年会費3000円納入済)
 - ② 6/25 (木) 常葉大、環境防災学部授業 小野講師として参加 (ゲストスピーカー)
 - ③ 6/27 (土) 富士山ごみ減量大作戦 (富士山こどもの国周辺)
 - ④ 7/4 (土) STOP温暖化協議会総会 フィランセ西4階大ホール 10:00~
 - ⑤ 9/27 (日) 消費者運動連絡会の生活展 (当会の活動、パネル展示あり)
 - ⑥ 10/18 (日) 富士市福祉まつり(リユース食器、HOPE活動) 申し込み済
3. リユース食器活動予定
 - ① 広見生涯学習 7/1~7/7 No.2、No.10 No.12 No.14 各40ヶ
7/1持ち出し7/8持ち込み (何れも竹内、縣で対応する)
 - ② 青葉台夏祭り 8/1(土)食洗機、簡易流し台、食器貸出予定(小野窓口)
(6/29まつり説明会(小野さん出席)後に詳細解る)
 - ③ 神戸寄席 10/11(日) 田中(富)窓口
 - ④ 広見文化祭 10/31~11/1 竹内窓口

お手伝い募集!

参加できる方、お電話/FAX/メール、ください!

- 8月1日青葉台地区夏祭り：古着回収と販売の協力/自動食器洗い機設置撤収等
- 10月18日富士市福祉まつり：リユース食器活動による食器洗い、HOPEアンケート収集

富士市のごみを考える会通信2009年初秋



発行:NPO 法人富士市のごみを考える会 2009年9月7日

お問い合わせ:富士市大淵 27-6 小野由美子

Tel/fax: 35-2439 携帯電話: 080-5102-2439 mail: fyono@ck.tnc.ne.jp

HP: <http://fujigomizero.sakura.ne.jp>

今後の予定

- ▶ 9月24日、10月22日、11月26日、**会員勉強会**を行っています。(12月20日は忘年会予定)
9:30～フィランセ3F 団体研修室、奮ってご参加ください、年間テーマ廃棄物会計
- ▶ 10月8日、11月19日、12月10日は、**理事会**。9:30～フィランセ3Fです。
- ▶ 9月27日健康祭内にて、**富士市消費連市民生活展**を行います。
- ▶ 10月18日日曜日**市民福祉まつり**にて、リユース食器ブースを例年通りだします。別紙1参照
- ▶ 11月9日月曜日**10:00～12:00 富士市消費者運動連絡会 市民生活講座** 参加:無料 別紙参照
場所:富士市フィランセ4F 大ホール
演題:「ともに創る生ごみリサイクル京都モデル」～あんじょう、たあーんと、へらしまひよ～
講師:京都市環境政策局循環型社会推進部 循環企画課廃棄物企画係長 山田一男氏
- ▶ 12月に環境省廃棄物リサイクル課の講演会を予定しております。

活動報告

- ▶ 7月26日**ふじまつり**にて、**ごみ拾い**
ごみバスターズ2のお手伝いをしました。かぐや姫を見て、ごみ拾いをして、花火を見て、全く有意義な一日でした。
(縣、時田、小野参加)



- ▶ 6月27日、**富士山ごみ減量大作戦**
静岡県、富士市、静岡第一テレビ24時間チャリティー委員会共催の「富士山ごみ減量大作戦2009」が本日(6/27)富士市桑崎の富士山こどもの国周辺で実施され、私達「NPO 法人富士市のごみを考える会」の会員10数名も参加、微力ながら富士山周辺美化の一翼を担ってきました。また、はるばる東京や浜松から参加してくれた人もいました。
ここ、国道469号線(通称十里木街道)沿いは、心ない人達による自動車からのポイ捨てごみが多く、富士山世界遺産登録への大きな障害の一つになっています。



今回ごみ拾いをしたところは、その中の極く一部ではありますが、参加者の皆様のご努力結果、ここだけは、きれいな自然が取り戻せたと思います。

➤ 7月17日天間ふもと学級にて、廃油ろうそく作り (小野、菅井、高橋さん)

天間まちづくりセンターの夏休みわんぱく講座で、廃油でろうそく作りをしました。富士市のごみを考える会のメンバーとそのお友達で行いました。廃油でクレヨンが溶ける様子に、歓声が上がりました。

みんなとっても上手にできました。これで、家族で、電気を消して、テレビも消して、キャンドルナイトをやってね！ごみも減量できて、二酸化炭素も削減されて、家族も仲良くなって、一石三鳥だね。



➤ 7月17日ごみ減量審議会

7月17日午後1時半から、富士市役所で、富士市廃棄物減量化等推進審議会第1回目が行われました。富士市のごみを考える会で、委員の席をいただき、今年は、竹内理事に出ています。

4月5月のごみの減量は大きかったですが、6月になるとトーンダウンしています。生ごみ資源化に飽きたのかな？雨の日が多かったから、庭や畑に生ごみぼかしが埋められなかったのかな？

いろいろ考えてしまいますが、俗によく言われるリバウンドと言うものなのでしょうか？消費連で生ごみ資源化のモニターをお願いされ12名の方が頑張っていて取り組んでいらっしやいます。大きな輪を広げて行きたいですね。

<別紙2-3>
平成21年度 可燃ごみとプラスチック製容器包装の収集実績

年度	4月	5月	6月	計
収集量	173	201	189	563

①可燃物(マイワケ) 燃焼による減容率
②資源物(紙類) 資源物として回収されるもの
③燃焼による減容率 5%

資源物の回収 市内の燃焼施設、PET回収、地産物の資源物、資源物回収のプラ、資源物資源物

年度	4月	5月	6月	計
平成20年度	4,700	4,944	4,801	14,245
平成21年度	3,585	3,880	4,323	11,768
削減率	23%	21%	10%	17%

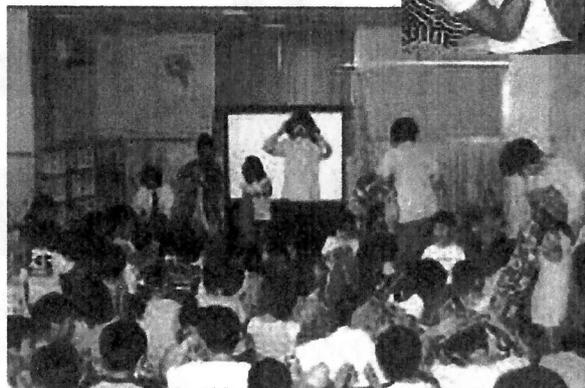
➤ 7月23日今泉児童クラブ(田中、石川、菅井、小野)

今泉児童クラブで、夏休みのごみ減量講座を行いました。富士市廃棄物対策課とのコラボレーションです。ふろしきは、日本のもったいないの心を生かした素晴らしい文化です。

一つ結びの仕方、かた結びのやり方など、いろいろ教わりましたね。

ふろしき一枚あると、ものは何でも包めるし、寒い時にスカーフにもなるし、帽子にもなりますね。便利なものです。

マイバッグ良いけれど、ふろしきも一枚バッグに入れておくと素敵ですよ。ごみの分別ゲーム、紙芝居、風呂敷活用法を行いました。



▶ 8月1日青葉台夏まつり、リユース食器応援 小野 自動食器洗い機設置:時田

青葉台地区夏まつりでは、ほとんどすべての模擬店で、リユース食器を使います。

運営は、青葉台地区夏まつり実行委員会ですので、食器洗いには、町内と模擬店から2名ずつと吉原第2中学校の生徒ボランティアが出てくれます。

食器・自動食器洗い機・簡易流し4台・看板は、富士市のごみを考える会から貸し出します。

生ごみ・割り箸・プラスチック(すすいで乾かして)・ペットボトル・ビン・カン・ストロー分別します。

まちづくりリユース食器担当者の方のアイデアです。

皆様の地区でもやりませんか？

これだけで一つのイベントになりますよ。



▶ 8月1日 大淵城山夏まつり(女性の会)へカレー用食器貸出

▶ 8月1日青葉台夏祭り・古着リユース 応援:田中、石川、菅井
青葉台夏まつり実行委員会は、富士市青葉台夏まつりで、古着のリユースを行いました。いらない古着を持ってきてもらい、好きな古着を持ち帰っていただき、残った古着はミャンマーの難民キャンプへ直接のルートを持っているボランティア団体ハートボックスにお渡しします。輸送費は募金箱を置いておきました。結構古着も集まりました、輸送費募金も7200円集まりました。



青葉台夏まつり実行委員会主催ですので、各町内から2名ずつのお手伝いが交代で入り、あと富士市のごみを考える会のメンバーがお手伝いで3名つきました。皆さん、お疲れ様でした。



▶ 岳陽中学生と広見地区と丘地区の大人たちの交流会が、岳陽中学校で行われ、食器を貸し出したことから、ちょっと参加させていただきました。焼きそばとかき氷に使うリユース食器を、富士市のごみを考える会で貸し出しし、そのことからごみ減量のお話を広見地区の竹内理事が行いました。

子どもたちに、使い捨て食器ではなく、リユース食器を使うことで、ごみが減る方法があるということを知らせることは大切ですね。

ちょっとの手間が地球を救う！

野球部の子供たちも、練習の後、大喜びで食べていました。なんかいいなあと思って見ていました。

でも、役員さんたちは大変ですね。

本当にご苦労様でした。

富士市のごみを考える会では、このような小さなイベントにも食器を貸し出しております。使い捨て食器は、化石燃料でできています。使わない方が良いですね。必要な時にご連絡ください。



富士市のごみを考える会通信2009年初冬



発行：NPO 法人富士市のごみを考える会 2009年11月25日

お問い合わせ：富士市大淵 27-6 小野由美子

Tel/fax: 35-2439 携帯電話: 080-5102-2439 mail: fyono@ck.tnc.ne.jp

HP: <http://fujigomizero.sakura.ne.jp>

1. 第35回 富士市生活展 (消費連) 9/27

フィランセ西館 2階

参加者：小野(由)、小野(勝)、菅井、縣、田中、石川
岸本

パネル展示で、20年度環境教育活動実績の紹介
来場者(485名)に当会の活動をパンフレット等により積極的にPR実施



2. 第29回市民福祉まつり(リユース食器活動)参加 10/18 中央公園内

参加者：会員14名、ボランティア18名(消費連、
常葉大学、自立サロン、ゴミマスターズII等)

活動内容

- ① リユース食器対応
(5団体、5種類-1,880食分)
- ② 静岡県環境宣言(HOPE)の署名収集
(目標の300部達成)
- ③ まつり交通整理 1時間×2回
- ④ ①~③を参加者全員でローテーションし実施



3. 環境教育活動(富士市立小中学校)

1). 伝法小学校 4年生(120名/4クラス)

日時・場所：11月4日-10時20分~12時

同校体育館、屋外

教育内容

- ① 3R紙芝居(富士山とごみと私)
- ② 生ごみの話(ごみは宝だ、土は生きている)
- ③ 生ごみの資源化実体験
(バケツに持参した生ごみとEMぼかしを混合し堆肥化と生ごみで出来た土に野菜の種を蒔き、これを継続観察する)
- ④ ごみ減量クイズ



教育のねらい

- ① 3Rについて知り、3Rを日常生活で実践出来るようにする
- ② ごみを作らないためにはどうしたらよいかを学び気づく
- ③ ごみは、自分の気づき次第で、ごみではなくなることに気づく
- ④ 生ごみ資源化を通して、食物連鎖を体験として学ぶ

参加者：小野、竹内、梅原、田中、石川、縣

2). 丘小学校 4年生 (130名/4クラス)

日時・場所：11月20日-13時45分~15時30分

同校パソコン室、屋外

教育内容：、ねらいも11/4の伝法小学校とほとんど同じカリキュラムで行った

参加者：小野、竹内、梅原、石川、縣



3). 富士中学校 2年生 (35名)

日時・場所：11月13日-13時~14時30分

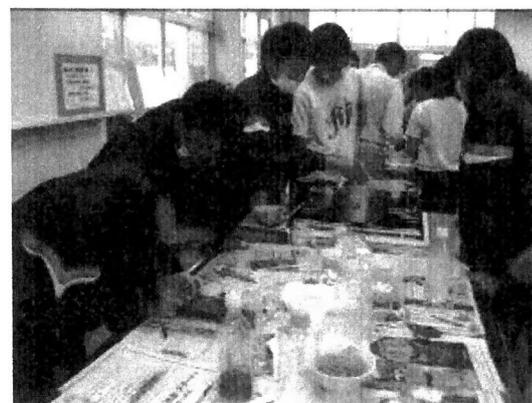
同校調理実習室

教育内容

- ① 3R紙芝居 (富士山とごみと私)
- ② なぜ廃油を川に流したらいけないか
- ③ 廃油ろうそく作り実習
- ④ ろうそくの炎について

ろうそく作りで廃油を温めるに時間が掛かりどたばたと気忙しい実習に成ってしまったが、廃油を温める容器、器具(安全で熱伝導の良いもの)を準備する必要がある

参加者：時田、梅原、田中、石川、杉山、伊勢、木戸、縣



4. 消費連第5回市民生活講座 (富士市のごみを考える会担当)

日時・場所：11月9日-10時~12時 フィランセ西館4階大ホール

テーマ：ともに創る生ごみリサイクル京都モデル

講師：山田 一男氏

(京都市環境政策局、廃棄物企画係長)

生ごみのバイオマスガス化テストプラントと京都市の2,200世帯で実施した生ごみ分別収集の実験をもとに効率的な収集方法や有効な市民啓発の方法についての検証を行い、その実験結果と将来の可能性について講演されました。(受講者57名)



5. 富士市男女共同参画宣言都市記念式典について

日時・場所：11月14日ー13時30分～16時30分

ロゼシアター中ホール

当会の対応

- ① 実行委員 小野房雄 小野由美子(消費連)
- ② 活動紹介のパネル展示及びパンフレット配布
(1階ガレリア)
- ③ 当会主催の講演会ちらし配布
(12/13 講師作花哲郎氏(環境省))
- ④ キャンペーンソング斉唱(6名舞台へ)



6. 第3回環境フェア 12月5日(土)10時～15時30分

於 ふじさんめっせ

当会の参加内容

- ① 紙芝居・富士山とごみと私(パートⅢ) (ステージ)
- ② 活動パネル展示 (展示ブース)
- ③ 富士山環境取組大集合 (富士山特設パネル)
- ④ 生ごみのEMぼかしによる堆肥化 (廃棄物対策課ブース)
- ⑤ リユース食器活動(詳細未定) (屋外ブース)

※開催の有無決定は11月27日(新型インフルエンザの影響考慮)

7. 消費連役員(平成22年度)を12月8日までに決定提出のこと

8. リユース食器活動予定

- ① 11月14日 ひめな授産所
- ② 11月21、22日 静学園祭
- ③ 11月21、22日 静岡 タイニードロップス
- ④ 11月29日 青葉台児童クラブ
- ⑤ 12月5日 第3回環境フェア

9. 忘年会

- ① 日時：12月20日(日)18時～
- ② 場所：オレンジペコ(例年のところ) 三日市浅間神社裏

プラスチック容器包装分別と指定ごみ袋導入で、 焼却ごみが前年比 **5,439** トン減りました！

平成21年度 富士市ごみ処理総量について(速報)

10月末 現在

ごみ処理総量等の内訳

(単位:トン)

	H20	H21	差引	増減率
ごみ処理総量	58,965	54,338	-4,627	-7.8%
焼却量	49,498	44,057	-5,439	-11.0%
家庭系	33,077	27,796	-5,281	-16.0%
事業系・その他(ウエス焼却分)	12,860	12,817	-43	-0.3%
下水・し尿汚泥	3,560	3,444	-116	-3.3%
資源物量	7,755	8,661	906	11.7%
びん	1,120	1,123	3	0.3%
缶・金属	1,227	1,190	-37	-3.0%
古紙類	4,020	3,834	-186	-4.6%
剪定枝	957	720	-237	-24.8%
ペットボトル	350	409	59	16.9%
ウエス	10	12	2	20.0%
その他(電池・コード類等)	68	38	-30	-44.1%
白色トレイ	2	1	-1	-50.0%
容器プラ		1,328	1,328	
廃食用油		5	5	
埋立・その他	1,714	1,620	-94	-5.5%
(内 罹災物)	473	292	-181	-38.3%

※平成20年度については、合併前の旧富士川町分を含む。

11月19日のごみマイスター研修で、ごみ処理総量速報が出されました。

総量で、4627トン。

焼却ごみで、5439トン減りました。

容器プラは1328トンその分が焼却から外れますので、焼却ごみが大きく減るのは当然です。

それにしても富士市民やればできますね。

一人一日当たりの排出量では、フジスマートプラン達成しましたが、一人当たりの焼却量ではまだ達成していません。

資源化率も達成していません。さらなる資源化が必要ですね。

	(H21目標値)	(10月末実績)
1人1日当たり排出量	940g	904g
1人1日当たり焼却量	682g	725g
資源化率	27%	17.1%